

これから 日本を担う 若者へ

(原子力技術への誘い)

(参考資料①)

。。という名前の
日本原子力学会の提言検討小委員会報告書が
2016年6月30日に発表されました。
一部抜粋します。

はじめに

(参考資料① p.1)

この冊子が、高度で豊かな
そして安全・安心な未来地球の構築に貢献する
主要な科学技術の一つである原子力技術に興味を持ち、
学ぶことへの一助になれば幸甚である。

- ・原発、核燃サイクルのしくみ
- ・医療、材料開発での放射線利用
の説明に続いて

エネルギー源としての原子力の位置づけ

(参考資料① p.5)

現在日本では2030年における電源の
20~22%を原子力が(中略)担う、という
国の方針が示されている。すなわち、
安全であり安心して受け入れられるエネルギー源
としての原子力は、
人類の持続可能な発展を目指すためにも重要なもの
として位置づけられる。

原子力の安全性

(参考資料① p.5)

原子力エネルギーの利用は
社会に多大な恩恵をもたらす一方、
極めて大きな危険性を内包している。

(中略)

100%の安全というのにはあり得ない。

原子力の安全確保とは、
その利用を著しく阻害しない形で実現されなければ
意味がない。

そこに人類の英知が求められているのである。

繰り返すが、

**原子力とは莫大なエネルギーを生み出す裏腹に
危険も内包するものであり、
利用するためには相当の覚悟と毅然たる対処が必要
である。その恩恵を享受するため利用するには、
継続的な安全性向上に向け、
終わりのない努力を惜しんでは
ならないのである。**

終わりに

(参考資料① p.7)

エネルギー資源が乏しい日本にとって、
持続的に豊かで快適な生活を営める国を目指すには、
英知を結集してこれら新しい技術を
開発していく必要がある。

(中略)

君たち若い人たちの英知を結集して欲しい。

最後に一言

『安全であり安心して受け入れられるエネルギー源としての原子力』は
『利用するためには相当の覚悟と毅然たる対処が必要』なんだそうです。
。。。ん？「安心して受け入れられる」のか「相当の覚悟」が必要なのか、どっちなんですよ？
とりあえず、私にや覚悟なんてできないんで、とっとと利用をやめてほしいんですけどね。

今、英知を結集すべきは福島第一原発への対応であり、すでに大量に存在する放射性廃棄物の処理であるはずですが。
そしてこれらを研究する人材は今後も絶対必要です。
だから若い人にもこの道を目指してもらわないと困るのは確かなんですが。。。

原子力学会が出した、この「誘い」には、廃棄物の処理の話は出てきません。
出てくるのは次世代の原子力発電システムだったりして、「そっちじゃないでしょう」と思うわけです。
今回は学会でしたが、国は人材育成をどう考えているのか？これまた重要な問題ですので今後注目していきます。